

東北公益文科大学（学部） さまざまな学生支援

■ 健康支援

本部棟 1 階の健康管理室で、病気やけが等の応急処置や心身の健康に関する相談に応じます。健康管理室で対応できない場合は、学校医または医療機関を紹介します。

■ 生活や授業に関する支援

・ オフィスアワー

全ての専任教員が、「オフィスアワー」という学生相談のための時間帯を設けています。

・ 学生相談室

学生生活や学業のこと、将来の進路や自分自身のことなど学生生活全般へのサポートを行っています。また、青年期によく見られる悩みに対し、専門的な相談員を配置し、相談を受け付けています。

・ ハラスメントに関する相談

本学にはハラスメント防止委員会があり、ハラスメント相談員がいます。相談員は秘密厳守で対応します。

■ 留学支援（公益学部） ※国際学部は支援が異なります。

<短期語学留学>

語学力の向上や異文化の理解を目的とした海外短期語学留学に参加する学生に対して、語学検定試験の結果に応じて留学費用の一部を大学で助成しています。

参考：【2025 年度の短期語学留学実績】

対象となった留学	奨学助成金	助成金交付者数
アイルランド・ヨーク大学 2025. 8/5～8/22（18 日間）	304,700 円（※2） 399,600 円（※1）	4 名 3 名
台湾・淡江大学 2025. 8/3～8/23（21 日間）	166,500 円（※1.2）	2 名
カナダ・ビクトリア大学 2025. 8/5～8/22（18 日間）	399,000 円	3 名
オーストラリア・ビクトリア大学 2026. 2/9～2026. 3/13（33 日間）	413,000 円 550,000 円（※1）	6 名 2 名
カナダ・リジャイナ大学（オンライン） 2026. 2/7～2/26（20 日間）	60,000 円	2 名

※1 TOEIC550 点以上/中国語検定 4 級以上

※2 支払金額の平均値

※2026（令和 8）年度入学生からは支援内容が変更となります。

＜中長期留学＞

在学期間中に２ヶ月～１年間の中長期留学を希望する学生には、費用面やカリキュラムの制度面での支援体制を整備しています。

- ・ 留学先での単位を本学の単位として認定
- ・ 進級要件の緩和や専門演習の履修体制など、中長期留学をしても４年間で卒業できる体制を整備

■ 学生活動支援 ※令和７年度現在。令和８年度は変更になる場合があります。

- ・ まちづくり活動・研修助成金

学生が国内で取り組むまちづくり活動やまちづくり活動に関するセミナーなどへ参加する場合の交通費や受講料の助成を行っています。交通費は東北６県・新潟・関東１都６県は２万円、その他地域は４万円を上限に、受講料は１万円を上限としています。

（令和７年度実績 ２件）

- ・ 大学・地域活性化活動助成金

大学の活性化を目的とした活動や学生と地域との協働によるまちづくり活動などに対して１件につき最大５万円の助成を行っています。（令和７年度実績 ０件）

- ・ 災害復興・防災活動助成金

災害復興支援を目的とした活動や地域防災を目的とした活動などに対して助成を行っています。ボランティア等へ参加する場合の交通費は東北６県・新潟・関東１都６県は２万円、その他地域は４万円を上限に、自主活動は１０万円を上限としています。

（令和７年度実績 ０件）

■ 障害者支援

講義が行われる教室は全てバリアフリー対応済。学生研修寮（ドミトリー）も２０棟のうち４棟がバリアフリーに対応しています。